



いつの間にか、セミの声がコオロギの声に変わり、季節はどんと秋に近づいてきました。幼虫の頃から成長を見守ってきたカブトムシも卵を産み、寿命を迎えています。たくさん遊んだカブトムシとの別れに悲しむ一方で、卵から幼虫が孵り、「うわあ！幼虫になってる！」「すごいなあ！」と新しい生命との出会いに胸をときめかせています。

そこだ！！頑張れー！！



しっぽとりが大盛り上がりのひばりぐみ。「今日はしっぽ取りする？」「〇〇君に勝ちたい！！」と毎日意気込んでいます。初めはクラスでしっぽ取りをしていましたが、他のクラスともやりたい！と、年長が代表して他クラスへ勝負を申し込んでいます。

あかぐみやあおぐみは、目の前のしっぽをとること、そしてしっぽをとられまいと逃げることに必死です。ただ、子ども達の持久力は素晴らしくどれだけ勝負が長引いても立ち止まることはありません。あおぐみのなかでは、年長さながらに素早くしっぽをとる子もいます。年長同士の対決で人数が足りない時には、助っ人として活躍しています。一方で年長は、どうしたらしっぽをとることができるのかを考えながら動いているようです。時には立ち止まって、取れそうなしっぽはないかと観察し、狙います。どうしたら勝てるのかを話し合うと「走ってるだけじゃダメ！」「畏をはらないと！」「挟み撃ちしたらいいんや！」「(他クラスの)強い子を最初に狙おう！」と意見が飛び交います。話し合いをし、年長の対決を応援するうちに、あかぐみやあおぐみもただ走るのではなく、立ち止まって様子を見る子が出てきました。そのようなあかぐみやあおぐみを応援する年長さん。「そこ！〇〇ちゃんとれるよ！」「しっぽを取りに行って！！」「〇〇くん！すごい！！」とまるで監督のようで、応援にも熱が入るようです。

負けて悔しい時には泣き、勝った時には飛び跳ねて喜んでいきます。どうしたら強くなれるのかを考え、話し合い、悔しさや喜びを感じながら子ども達は成長しています。



☆ついに！足が生まれました☆

5月中旬から飼育しているオタマジャクシ。飼育を始めて4か月が経ちました。「もうカエルにはならないのかも。」と少し諦めモードの子ども達でしたが…9月1日、「足が生えてる！！」とついに足が生えているのを発見しました。これには子ども達も大興奮。他のオタマジャクシも生えないかと熱心に観察していると「また生えてる！」と2匹目も発見！「手も出てくるんじゃない？」と毎日オタマジャクシを観察しています。

ぜひ、お迎えの時に覗いてみてください。



☆新しい仲間が増えました☆

ザリガニの「ちくわん」です！
畑の溝で出会いました。
よろしくね！

ちくわを食べることから、「ちくわん」と名付けられました。言葉通り、子ども達は毎日家からちくわを持ってきてやっています。いつも水槽に入れている植木鉢の陰に隠れているちくわんに「端っこがすきなんかな。」「恥ずかしいかな。」と興味津々です。